

Japan O'pen BIC Cup 2015



(兼 World O'pen Cup 2015 代表選考レース)

- 主催 : 日本オープンビッククラス協会 (Japan O'pen BIC Class Association)
後援 : 兵庫県セーリング連盟、神戸新聞社、NPO 法人兵庫県の水域の秩序ある利用を進める会
協賛 : 株式会社ウインドワード、ビックスポーツ、JIB、Gill、伊藤園、アクアサウスコースト、ヤシママリン、ら・さら、ホテルアラマンダ
開催場所 : 兵庫県西宮市 (ウインドワードオーシャンクラブ)

共通帆走指示書

1. 規則

- 1.1 本大会には、「セーリング競技規則 2013-2016(RRS 2013-2016)」に定義された“規則”を適用する。ただし、下記で修正/追加したものは除く。
- 1.2 本大会には最新のクラス規則に定義されたオープンビック標準大会規則 (O'pen BIC Standard Event Rules)」を適用する。
- 1.3 ペナルティー・システムとして帆走指示書第14項を適用する。
- 1.4 レース公示と本帆走指示書が矛盾する場合は、本帆走指示書を優先する。
- 1.5 本帆走指示書はすべてのシリーズに共通とする。

2. 競技者への通告

- 2.1 陸上での競技者への通告は、陸上本部に設置された公式掲示板に掲示する。
- 2.2 海上での競技者への通告は、レース委員会信号艇に音響3声とともにL旗を掲揚することによって発する。内容・事項は、口頭または掲示板により各艇に伝達する。各艇はL旗が掲揚されたら信号艇のスターンに集まること。いかなる口頭の指示も、それが伝わるか否かは各艇の責任である。

3. 帆走指示書の変更

- 3.1 帆走指示書の変更は、それが発効する当日のスタート予定時刻の60分前までに掲示し、かつ艇長会議で口頭にて説明する。
- 3.2 海上において変更を通知する場合は、指示2.2項に準ずる。
- 3.3 この項は、規則 90.2(帆走指示書)を変更している。

4. チャーター艇

- 4.1 チャーター艇が準備される。艇及びセールは受付時の抽選により決定する。競技者は、艇、マストおよびブームについては同じ番号の組合せで使用すること。
- 4.2 競技者は、次のことを除き、どのような方法であっても、改造してはならず、また改造するような原因を作ってはならない。
 - (a) 糸を含む風向計を艇のどこにでも結びつけたり、テープで貼り付けたりしてもよい。
 - (b) 艇体、センターボードおよびラダーを水のみで洗ってよい。
 - (c) 接着テープを喫水線より上のどこにでも用いてよい。
 - (d) クラス規則に従っている限り、調整できるように作られた全ての艀装品または装備を調整してよい。
- 4.3 帆走のために艇と共に準備された全ての装備は、海上にいる間、艇内になければならない。
- 4.4 上記の指示に1つでも従わない場合のペナルティーは、指示に違反して帆走した全てのレースで失格とする場合もある。

- 4.5 競技者は、わずかであったとしても、装備の損傷または紛失を、艇を乗り換える際または艇を着岸後、直ちにレース委員会に報告しなければならない。この指示違反のペナルティーは、競技者がこれに従うために明らかな努力をしたとジュリーが納得した場合を除き、直前のレースを失格とする。
- 4.6 艇が損傷した場合の修理費用は選手が負担しなければならない。

5. 陸上で発する信号

- 5.1 陸上で発する信号は、大会本部のポールに掲揚する。
- 5.2 AP 旗を陸上で掲揚した場合、レース信号 AP 旗の「1分」を「30分以降」と置き換える。

6. レース日程

レース公示に記載。

7. クラス旗

クラス旗は、O'pen BIC 旗を用いる。

8. レース・エリア

付属図 A(レース・エリア)にレース・エリアの位置を示す。

9. コース

- 9.1 コース
付属図 B(コース)は O'pen BIC Cups 中に予測されるコースの形態を示している。
- 9.2 コースには speed<スピード>、speed slalom<スピード・スラローム>、O'pen Cross<オープン・クロス>が盛り込まれ、360° 回転、転覆を含むことがある。また、異なる場所を結ぶ adventure races<冒険レース>を行うことがある。これらの図のコースは単なる例であり、各レースの最終的なコースは当日、艇長会議において指示する。
- 9.3 冒険レースを除く各レースは、フリートの間が 20-25 分でフィニッシュするコースを予定する。

10. マーク

- 10.1 すべての回航マークは**ピンク色**の円筒形ブイである。
- 10.2 スタート・マークおよびフィニッシュ・マークは、スターボードの端にあるレース委員会信号艇とポートの端にある**オレンジ色**の球形ブイである。

11. スタート

- 11.1 スタート・ラインは、スターボードの端にあるスタート・マーク上にオレンジ色旗を掲揚しているポールとポートの端にあるスタート・マークの間とする。
- 11.2 スタート信号の 4 分より後にスタートする艇は、「スタートしなかった(DNS)」と記録する。この項は付則 A4 を変更している。

12. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、青色旗を掲揚したフィニッシュ・マーク上にオレンジ色旗を掲揚しているポールとフィニッシュ・マークの間とする。

13. タイム・リミット

先頭艇が規則 28.1 に定めるコースを帆走してフィニッシュ後、10 分以内にフィニッシュしなかった艇は、「フィニッシュしなかった(DNF)」と記録する。この項は規則 35、付則 A4、A5 を変更している。

14. ペナルティー・システム

- 14.1 抗議は受け付けない。O'pen BIC Cupでの抗議は水上で解決し、審問をプロテスト・ルームでは行わない。
- 14.2 オン・ザ・ウォーター・ジュリーは“ペナルティー旗(黄色旗)”を採用する。
- 14.3 規則に違反したと現認された艇は、セール番号を特定され、ペナルティー旗を示される。その艇は、できるだけ早く他艇から十分に離れたのち、ペナルティー回転を行わなければならない。ペナルティー回転は、同一方向に一回のタックと一回のジャイブを含む回転(1回転ペナルティー、タック

クとジャイブの後先は問わない)を速やかに行うことである。最初の安全な機会に、このペナルティーを履行しなかった場合、その艇はそのレースで失格となる。

- 14.4 規則の繰り返しの違反、またはジュリーに“危険”とみなされるセーリングは、レガッタから排除される結果となることもある。
- 14.5 もしルールについてははっきりとわからないか、説明してもらう必要がある場合、セーラーは、実際のレースが進行している外側でいつでも、ジュリーに近づいてもよい。ジュリーの判決は最終である。
- 14.6 真に公正な競技精神のもとに、セーラーは自身でセーリングを制御することを求められている。すなわち、もし艇が規則の一つに違反したとわかったならば、違反がジュリー・ボートに見られたかどうかに関係なく、ペナルティー回転をするのがよい。
- 14.7 本項は、規則44、60.1、63.1を変更している。

15. 各シリーズの得点

- 15.1 各シリーズが成立するためには、1レースを完了することを必要とする。
- 15.2 各シリーズの得点は、4レース以上完了した場合、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。この項は付則 A2 を変更している。

16. 「World Cup 日本代表認定基準」・「Japan O'pen BIC Cup ウイナー決定」および「World Cup 招待派遣選手選考基準」

レース公示に記載。

17. 安全規定

- 17.1 海上にいる間、競技者は個人用浮揚用具(ライフジャケット)を着用しなければならない。この項は RRS 第 4 章前文および規則 40 を変更している。
- 17.2 レース委員会および/またはジュリーは、レース艇が帆走不能もしくは危険な状態にあると判断した場合には、艇にリタイアを命ずることがある。この措置に対する救済要求はできない。この項は規則 62.1(a)を変更している。
- 17.3 艇は、救助を求めるときには、手のひらを広げて大きく振ること。
- 17.4 レース委員会信号艇にN/H旗、N/A旗、AP/H旗またはAP/A旗が揚げられたときには、速やかにハーバーに帰ること。

18. 装備の交換

損傷または紛失による装備の交換は、レース委員会の承認なしでは許可しない。交換の要請は最初の適当な機会にレース委員会に行わなければならない。

19. ごみの処分

艇は海にごみを捨ててはならない。ごみはRCや支援艇に渡してもよい。

20. 賞

各シリーズの上位者に賞状および賞品が与えられる。

21. 責任の否認

このレガッタの競技者は、完全に自分自身の責任で参加する。規則 4(レースをすることの決定)参照。主催団体並びに委員会は、大会前後、期間中に生じた物的損傷または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

22. 保険

このレガッタへの参加者は、大会で生じる人身障害、死亡、または他の艇や参加者に対する損害賠償に対応するために十分な保険に加入していなければならない。



WINDWARD
OCEAN CLUB



BIC Sport



JIB
SINCE 1978



神戸新聞
NEWS
THE KOBE SHIMBUN



伊藤園

自然が好きです。

cafe restaurant

Acqua



X S ~ 最大 7 L までサイズの豊富古も自慢です!

和柄専門【ら・ざら】

We modern japanese print clothes & goods



hotel Allamanda

私たちは日々サービス向上に努めます